

→ 鳥取大学の情報を調べるには



■大学案内2018 (6月上旬配布予定)

■平成30年度AO入試学生募集要項 (7月上旬公表予定)

資料の請求は、下記の本学ホームページからお申し込みください。  
7月以降の進学相談会・オープンキャンパスでも入手できます。

■進学相談会

進学相談会の時間内は随時、入退出ができますので、お気軽に会場までお越しください。  
なお、会場の追加や時間の変更などもありますので、ご来場の際には入学センターホームページの進学相談会のページをご確認ください。

The question which often exists

## よくある質問 Q & A

Q AO入試と推薦入試の違いは？

A 推薦入試は、一般に高等学校長からの推薦により、指定した出願要件による入試です。  
これに対してAO入試は、一般に「自己推薦型の入試」であり、1校からの出願人数に制限はありません。本学のアドミッションポリシーを理解したうえで、「学ぶ意欲、将来に対する構想」を出願書類、面接等で直接アピールしてください。

Q AO入試の特徴・メリットは何ですか？

A 第1次・第2次選考を通じて、意欲、論理的な思考力・表現力に加えて、高校での学習履歴・基礎学力、課外活動など、高校での様々な経験を評価するのが特徴です。  
また、本学AO入試では合格発表後に、入学前教育合宿研修を行います。この合宿研修では、各学部の教員からアドバイスをもらったり、同級生や先輩と交流を持つことができます。入学前にこうした交流を持つことにより、スムーズに大学生活を迎えることができるのが、大きなメリットといえます。

Q 過去の問題を閲覧、入手することはできますか？

A 過去3年分の入試問題を入試課(鳥取キャンパス)、及び医学部学務課(米子キャンパス)で閲覧することが可能です(平日9:00~17:00)。ただし、問題文を撮影したり、コピーすることはできません。  
また、ホームページで過去問題の公表(著作権にかかっている部分を除く)を行っています。  
※農学部における、AO入試の閲覧可能物はありません。

Q 出願書類、選抜方法とその内容は？

A 出願書類は、入学志願票(志望理由・自己推薦)・調査書等です。入学志願票以外の資料(賞状の写、論文、写真、CD)等は添付することができません。  
選抜方法は、第1次選考と第2次選考により行います。このうち、第1次選考は、書類選考及び個人面接(15分程度)により行います。全国に5つの試験会場を設置しているため、都合の良い会場を受験することが可能です。  
第2次選考は、学部・学科により異なります。詳しくは、本誌と7月上旬公表予定のAO入試学生募集要項でご確認ください。

Q なぜ、入学前教育を行うのですか？

A AO入試では、合格から入学まで、約5ヶ月の期間があります。  
この間、学習習慣を持続させ、基礎学力が低下することがないように、「高等学校での学習」と「大学での学び」を接続するためです。  
その内容は、宿泊を伴う合宿研修、自宅でのe-ラーニング、学部・学科指定のレポート提出等です。

Q 学生募集要項の請求、情報の入手方法は？

A AO入試学生募集要項は、7月上旬に公表し、配布予定です。本学ホームページから請求できるほか、本学窓口、進学相談会でも直接入手することが可能です。  
学部・学科に関する情報は、ホームページに掲載しているほか、オープンキャンパスに参加して、より詳しく情報収集することも可能です。  
なお、進学相談会では、本学入学センター教員が参加します。

Q 資格・検定の取得、コンテスト等はどう扱われますか？

A AO入試は、資格・検定を取得したことや各種コンテスト入賞の有無を評価する入試ではありません。しかし、その分野に関心や適性、能力があることを判断する材料となります。  
一例として、本学では入学後に英語力を重視するため、英検、GTEC for STUDENTS、TOEIC Bridge等を受験した方は、合格証の写しを出願書類に同封することとしています。  
資格取得やコンテスト入賞に至るプロセスなどを説明できるようにしておいてください。

Q 他の入試(一般・推薦)との関係、有利不利はありますか？

A 本学では、AO入試で不合格になった場合でも、その後の推薦入試(I・II)、一般入試(前期日程・後期日程)に出願が可能であり、不利になることはありません。(ただし、推薦入試、一般入試では、AO入試とは異なる観点で評価を行います。)  
また、入試方法によって、入学後のカリキュラムや卒業要件などの教育内容に違いはありません。本学のAO入試の入学者は、学生生活を積極的に進め、各学科内、部活動、サークル活動でもリーダーシップを発揮しています。



鳥取大学  
Tottori University

■学部・学科構成

※朱色がAO入試実施学科・コースです。

地域学部 Faculty of Regional Sciences

地域学科地域創造コース  
地域学科人間形成コース  
地域学科国際地域文化コース

医学部 Faculty of Medicine

医学科  
生命科学科  
保健学科 看護学専攻  
保健学科 検査技術科学専攻

工学部 Faculty of Engineering

機械物理系学科  
電気情報系学科  
化学バイオ系学科  
社会システム土木系学科

農学部 Faculty of Agriculture

生命環境農学科  
共同獣医学科



お問い合わせ E-mail  
(info-ac@ml.adm.tottori-u.ac.jp)



進学相談会のページ  
(http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/soudan-examinee)

このパンフレットの内容は、変更になる場合があります。  
必ず「平成30年度AO入試学生募集要項」でご確認ください。

鳥取大学入学センター  
〒680-8550 鳥取市湖山町南4-101  
TEL 0857-31-5554  
FAX 0857-31-5569  
URL http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/

鳥取大学  
Tottori University

ジョーシキをトビダセ!  
「君も飛べるんです」プロジェクト展開中

鳥取大学  
AO入試ガイド2018  
Admissions Office Entrance Examination

# What are Admissions Office Entrance Examination?



鳥取大学は、「知と実践の融合」を教育理念に掲げ、  
 教養豊かな人材の養成や地域社会の産業、文化等への寄与を教育目標にしています。  
 このため、入学者選抜においても、AO入試を採用し、  
 多様な才能を持った意欲ある人を選抜します。

## ■平成30年度AO入試スケジュール



## ■入試データ

鳥取大学 AO入試実施状況  
 (平成29年度、平成28年度の過去2年間。カッコ内は女子を内数で示す。)

学部	学科	平成29年度入試				平成28年度入試			
		募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	第2次選考合格者数	募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	第2次選考合格者数
地域学部	地域学科地域創造コース※1	10	35 (15)	20 (12)	14 (10)	6	32 (12)	16 (8)	8 (5)
	地域学科人間形成コース※2	4	16 (13)	11 (11)	5 (5)	4	17 (11)	10 (7)	4 (3)
	地域学科国際地域文化コース※3	4	16 (11)	8 (7)	5 (4)	4	11 (6)	8 (6)	3 (2)
工学部	社会システム土木系学科	2	6 (2)	3 (2)	2 (1)	2	5 (2)	2 (1)	1 (1)
農学部	生命環境農学科※4	10	55 (30)	24 (14)	10 (6)	10	61 (24)	20 (10)	10 (5)
総計		30	128 (71)	66 (46)	36 (26)	26	126 (55)	56 (32)	26 (16)

※1 平成28年度入試は、改組前の「地域政策学科」で実施。 ※2 平成28年度入試は、改組前の「地域教育学科」で実施。  
 ※3 平成28年度入試は、改組前の「地域文化学科」で実施。 ※4 平成28年度入試は、改組前の「生物資源環境学科」で実施。

## 平成29年度AO入試 第1次選考のポイント

平成29年度AO入試が、どのように行われたかについて、第1次選考のポイントを示したものです。  
 平成30年度AO入試が、次のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

### 1 書類選考

出願書類の志望理由書、自己推薦書、調査書を精査しました。志望理由書と自己推薦書からは、「学科・コースへの意欲関心や志望動機」、「高校等での活動歴」、「文章の表現力」を中心に評価しました。志望理由書の資格・検定等と調査書からは、資格取得の内容、特記事項の記載事項を中心に評価し、特に英語に関する資格では、一定以上の実力があると判断した場合に加点しました。

### 2 個人面接

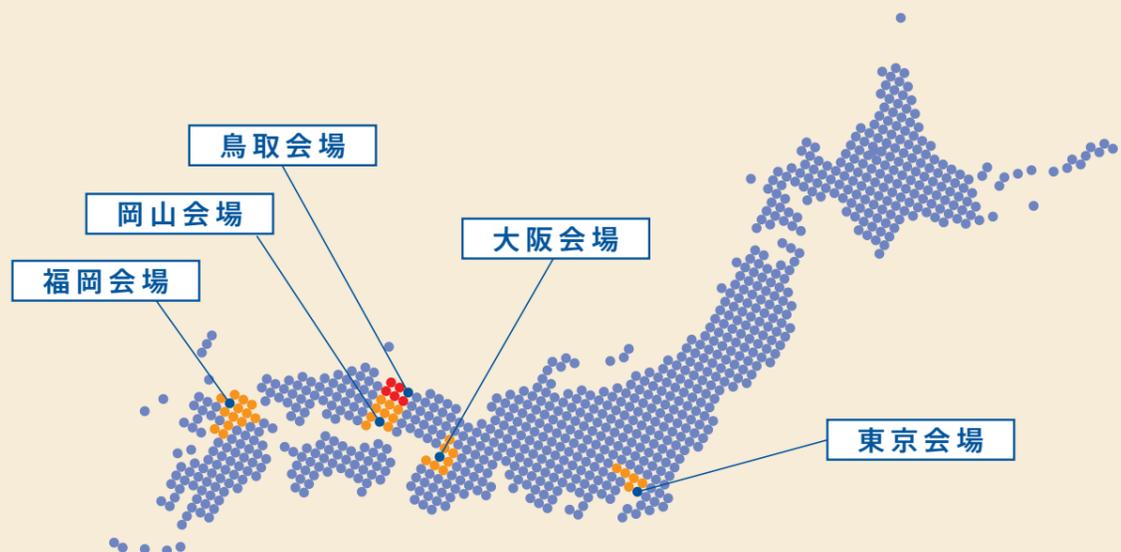
受験者1名に対して面接官2名で15分程度行いました。志望理由書から、どのようなことを大学で学びたいのか、なぜ本学学部・学科・コースを志望するのか、学びたい学問の興味関心がより深いのか、大学卒業後に何をしたいか、それらについてより詳しく、具体的な説明を求め、質問内容を正しく理解しているか、その回答は自分でよく考え、論理的かつ明確に表現できるかということを中心に評価しました。自己推薦書から自分の強みは何か、学校生活で力を入れて取り組んだことは何かについて、詳しい具体的な説明によって論理的かつ明確に答えられるかを中心に評価しました。

## 第1次選考

試験日・会場 [平成30年度AO入試] (予定)

試験日	試験会場 (所在地)	
平成29年9月22日(金)	大阪	AP大阪梅田茶屋町(大阪市北区茶屋町1-27 ABC-MART梅田ビル8F)
平成29年9月23日(土)	東京	AP品川(港区高輪3-25-23 京急第2ビル9F・10F)
平成29年9月24日(日)	福岡	八重洲博多ビル(福岡市博多区博多駅東2-18-30)
平成29年9月25日(月)～9月26日(火)	岡山	岡山コンベンションセンター(岡山市北区駅元町14-1)
平成29年9月27日(水)～9月30日(土)	鳥取	鳥取大学鳥取キャンパス(鳥取市湖山町南4-101)

※試験会場は出願時に選択、試験日は本学が指定します。 ※内容が変更となる場合がありますので、必ず募集要項で確認してください。



# 地域学部 地域学科 地域創造コース

募集人員(予定)  
10人

2年 | 高信 彩也香 さん (たかのぶ さやか) [ 島根県立隠岐島前高等学校 出身 ]



鳥取の方言がカワイイ!

「だけえ(だから)」「～だでな(～だよな)」とか、地元出身の友達を使う鳥取弁が面白くて新鮮。私もマネして使っています。同じ県なのに東・中・西部で方言が違うのも興味深いですね。

## ■ 島留学で知った地域の面白さをもっと学びたい!

神奈川県から島根県隠岐諸島にある高校へ「島留学」した私。地域活動が盛んな学校で、地域学の授業があったり島に暮らす方々と交流したり、様々な経験を重ねました。そんな中で私は「島は都会と違い、どの家族も何らかの形で別の家族とつながっている」と気づき、地域社会を構成する最小単位「家庭」に興味を抱くようになったんです。そこで、地域について多角的に学べる鳥大の地域政策学科を進学先に選択。高校の授業で地域を調査研究したこと、地域課題の解決策を考える「Dig」というコンテストに参加した経験等を生かし、AOで受験することにしました。

願書を書く志望理由・自己PRを考えるとき、一番苦労したのは「自分を振り返る」こと。「それがなければ面接で自分のことは語れない」と先生に言われ、人生グラフを書きながら自己分析。おかげで、これまでの出来事やその場面での気持ち、失敗や成長、将来の目標などが明確になり、自分にしか書けない言葉で表現することができるように。面接も「相手に自分のことを分かってもらいたい」という気持ちで、より具体的に話すよう練習しました。

## ■ 2次科目は何度も練習し、心に余裕を持とう

2次選考対策は、課題論文・グループディスカッション・2次面接を毎日ローテーションで練習。スクーリングについても、ネットに上がっている大学講義を聴いてメモを取る練習をしました。高校は寮生活で、新聞を独り占めすることができなかったため、最新の地域問題、時事ネタは「Googleアラート」の機能で情報収集。事前に登録したキーワードにより最新ニュースが自動配信されるので、時間が省けるし、新聞よりも各地域のことが詳しく分かって便利です。

グループ討論では、脱線ぎみの意見が飛び出したとしても全否定は厳禁。本筋との関連を見つけて出し、次につながる展開に持っていくのが大事ですね。1人で突っ走らず、お互いの気持ちをくみながら進めていくよう心がけました。AO受験する同級生とそういう練習を繰り返していたのが役立ちました。AO入試にしっかり立ち向かうと、大学での学修に役立つ力が身に付きます。「全力」が一番ですよ!

# 地域学部 地域学科 人間形成コース

募集人員(予定)  
4人

3年 | 俵 梨々花 さん (たわら りりか) [ 鳥取県立鳥取西高等学校 出身 ]



鳥取のお気に入り  
疲れを癒してくれる天然温泉

岩井温泉・三朝温泉・皆生温泉など、鳥取県は名湯が幾つも湧く温泉天国。私は湖山池のほとりに建つ施設の天然温泉が大好き。湖山池を一望できる展望風呂で、最高にリラックスできますよ。

## ■ AOで受験チャンスを増やし、夢に挑戦!

地域の歴史を研究・発表したり地元イベントに参加したりと、充実した小学校時代を過ごさせてくれた担任の先生に憧れて、私は小学校の先生になりたいと思うようになりました。鳥大地域教育学科は免許・資格が複数取得できる上、地域と教育のつながりについても学べて私の理想にピッタリ。一般入試でいくつもりで担任の先生に相談したら、「チャンスが増えるから」とAO入試を勧めてくれたんです。8月中旬というギリギリのタイミングだったけど、AOでの挑戦を決心しました。

早速取り寄せた願書は、罫線のない白紙だったのでビックリ。「とにかく表も裏も埋めなくては」と思い、最初は小さな字でビッシリ書き込みました。でも先生の添削を受けるうち、「文字量が多すぎても相手には伝わらない」と気づいて。程よい量で、端的にまとめるのがベストですね。人前で話すのは得意なほうなので、1次面接の練習は2～3回程度。願書の内容を丸暗記するのではなく、臨機応変な受け答えと、相手の目を見てハキハキ話すことを心がけました。

## ■ 小論文のコツをグループ討論に応用

2次選考対策は英文読解と小論文に集中。特に小論文は経験がなかったため、「練習あるのみ!」でした。毎日こなすうちにコツがつかめてきたし、次第に「目指したい教師像・教育の在り方」といった将来のビジョンもはっきりしてきて、試験全体を通してすごく役立ちました。口頭発表では突っ込んだ質問もあるので、小論文を書いているときから自分の考えをまとめておくことが大事ですよ。

グループディスカッションは練習相手がいなくて対策できていなかったけど、小論文のハウツーを応用。まずは資料から読み取れることをメモして考えをまとめ、自分の言葉で伝えることに専念。討論が進んでいって、周りの意見を取り入れながら、それに対して自分はどう思うのかをすばやくまとめて、次の展開につながる発言をするよう努めました。毎日、新聞を読んでいたことも助けになりました。

大学では今、特別支援教育の勉強に取り組んでいます。夏休みには教育実習にも行きました。特別支援学校教諭の免許も取得したいと考え、頑張っています!

### 平成29年度AO入試 第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成29年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成30年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して求める力	自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。
スクーリング	講師(1名)が「地域における若者の政治参画」についての講義(約75分)を行い、その後、受験者との質疑応答(約15分)を行いました。
課題論文	スクーリングの内容に関連した設問(2問)に90分で解答するものでした。設問の内容は、スクーリングの内容の一部を要約するもの(400字以内)と、身近な地域における政策課題を述べ、10代の有権者が選挙や住民投票を通じて、参加の実感を持ちながら、その政策課題に関わるために必要なことについて論述するものでした(600字以内)。
グループディスカッション	ワールドカフェ方式を採用し、受験者は5名ずつ4グループに分かれて1ラウンドを20分間とした討論を行い、メンバーを入れ替えながら4ラウンドの討論を繰り返して、議論を深めました。テーマはスクーリングの内容を踏まえたもので、ラウンド毎に変更しました。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり25分の面接を行いました。

### 平成29年度AO入試 第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成29年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成30年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して求める力	地域教育のキーパーソンをめざすために必要な、確かな基礎学力、柔軟で創造的な思考力と表現力、他者と共働して問題解決する力を求めます。
小論文	教育に関する英文資料(A4版で1枚)および近年の社会で起きた問題に関する社説記事(日本語、A4版で1枚半)を読み、120分で設問(4問)に解答するものでした。設問は、英文資料では指定した箇所の和訳を問うものが1問、本文中で使用される概念の意味を問うものが1問(200字以内)、日本語資料では下線部該当箇所の内容理解に関する問題が1問(50字)、文章全体で議論されていることの意味を問う問題が1問(600字)でした。
口頭発表	小論文の日本語資料における筆者の主張を前提に、教育に期待できることと、教育ではできないことを考えて発表してもらい、受験生の教育に対する理解を確認しました。1人あたり13分(発表準備5分、発表5分、質疑応答3分)で発表するものでした。
グループディスカッション	2つの課題に取り組み、ディスカッションを行いました。1つ目の課題では、資料に基づいて「総合的な学習の時間」がもたらす効果を読みとる問い、2つ目の課題では、資料と自らの経験に基づいて「総合的な学習の時間」において子どもたちはどのようなことを学んでいるのかという問いでした。総時間数は90分。
個人面接	4名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。

# 地域学部 地域学科 国際地域文化コース

募集人員(予定)  
4人

3年 | 鶴田 幸貴 さん (つるた こうき) [私立長崎南山高等学校 出身]



鳥取のお気に入り

### 新鮮な魚の美味しさに感動

鳥取の魅力はやはり日本海の幸。マグロ、ハマチ、鯛などがのった海鮮丼がめちゃくちゃ美味しい! 回転寿司のネタも分厚くて食べ応えたっぷり。毎年冬には実家に松葉ガニを送っています。

## ■ 自信を持ってありのままの自分を伝えよう

地元・長崎県諫早市に伝わる伝統芸能「浮立(ふりゅう)」を守り、発展させるには? 大学ではそんなことを学びたいと考えていた僕は、高3の夏、地域実習が豊富な鳥大のAO入試を第1志望に決めました。願書は本番の用紙をコピーして何度も下書き。先生に添削をお願いしたら「何を伝えたいのかさっぱり分からない」と注意されガックリ…。自分のウリや鳥大で何を学びたいのかを前面に出し、そこに地域活動や高校での経験を盛り込み、肉付けしていく形でまとめていきました。

オープンキャンパスで知り合った県外の友達とTwitterで話していたとき、偶然にも在学中の先輩との出会いが。自身のAO経験を詳しく教えてくれた上、「格好つけないでありのまま話せばいいよ」と励ましてくれたのはうれしかったですね。

1次面接は福岡会場受験。鳥取まではJRで6~7時間はかかるので大助かりでした。あらゆる質問・状況を想定し面接練習をしっかりとこなしてきたから本番では緊張もなく、むしろ「めいっぱい話したい!」という気持ちに。アドバイスどおり「ありのままの自分」を笑顔で話すことができました。

## ■ グループ討論は話す力・聞く力の両方を駆使

自己表現の試験は、「浮立」のことや高校での生徒会活動、短期海外留学の経験などをプレゼン形式で伝えることに。話すスピードや目線、進行の仕方、画面の指し示し方に気を配り、英語も交えて説明。プレッシャーに負けないよう、学校一佈い先生に試験官役をお願いするなどして練習しました。実際本番でも無表情な先生がおられて少し焦ったのですが、練習のおかげで最後までやり通すことができました。

課題論文は他大学の過去問も活用して対策。示されたキーワードについて何も知らなかったらアウトなので、新聞・TVニュースのチェックは必須です。

グループディスカッションでは、女子の積極性&的確な意見に圧倒され、くじけそうになったけれど、資料を読んで重要だと思う箇所に線を引く、自分の意見を整理。必ず質問をしないとイケないので、仲間の発言はメモを取りながら聞きました。それを受けて自分はどう展開していくのか、そこがポイントですね。

## 平成29年度AO入試 第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成29年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成30年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

**全体を通して求める力** 文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があって、他者の話によく耳を傾けて理解しようとする姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらをわかりやすく表現する力を求めます。

自己表現	「自己の知識や経験等」に関する自己アピールを、1人あたり15分で行いました。
グループディスカッション	「剽窃」「盗作」と「オリジナリティ」について論じた3つの資料(A4版で5枚)を読んだうえで、1グループ8名で150分のグループディスカッションを行いました。進行は教員が行いました。
課題論文	「ぐずぐずする権利」について論じたエッセイ(A4版で2枚)を読み、90分で設問(2問)に解答するものでした。設問の内容は、筆者のとらえる「ぐずぐずする権利」を要約するものと(200字以内)、「ぐずぐずする権利」についての自分の考えを論述するものでした(800字以内)。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。

# 工学部 社会システム土木系学科

募集人員(予定)  
2人

3年 | 菊川 康介 さん (きくかわ こうすけ) [鳥取県立八頭高等学校 出身]



鳥取のお気に入り

### 大山絶景ロードをツーリング

中国地方で一番高い山「大山(だいせん)」をバイクでツーリングするのが大好き。新緑の頃、ブナ林のトンネルの下を走るの最高に気持ちいいですよ。途中の展望台から望む山頂も絶景!

## ■ 願書も面接も具体的な表現と熱意が肝心

地震・台風・異常気象など、近年自然災害が多い日本。僕は父と一緒に防災器具の考案に取り組んでおり、将来は防災分野での起業を考えています。鳥大工学部は防災について自分の考えと近い研究をしているし、地元の国立大学という親近感もあったので、高1のときには既に「鳥大工学部一本」と決めていました。AO、推薦I・II、一般入試の前期・後期まで、5つの受験チャンスすべてを生かすつもりでしたが、メインはAO。それを見据えて勉強も部活も積極的に取り組みました。

願書は、「なぜ鳥大なのか」「自分の強みは何か」を明確かつ具体的に表現することに注力。1次選考の1カ月前からはほぼ毎日面接練習に励みました。学校の先生も相手をしてくださったけど、実は一番厳しかったのは両親。「何を問われても自分の理論がぶれないように」と、突っ込んだ質問の嵐。でもそのうちに、「質問は自己アピールのチャンスだ」と思えるほど余裕ができました。本番では、練習どおり話せたせいかそれほど質問されず、逆に寂しいくらいでした(笑)。

## ■ 工学の知識&社会問題にアンテナを張ろう

講義等理解力試験は過去問の情報が少なく対策に困りましたが、とにかく講義に集中して積極的にメモを取ることが大事ですね。当日のテーマはごみの収集問題について。計算問題が多かったので、ケアレスミスだけはしないよう注意しました。

小論文は、高3の春からずっと工学部用の過去問で練習。中学生のときたくさん本を読んでいたことも功を奏し、困ることなくクリアできました。苦手な人はしっかりと対策を。また、知識のない分野からの出題だと何も書けないので、工学に関係ありそうな時事ネタを調べておくのも忘れずに。口頭試問で問われる数学・英語は基本的なことなので、普段の勉強を怠らなければ大丈夫だと思います。

AOは情報収集が重要。AO入試ガイドは過去2年分をチェック、大学案内・HPもかなり読み込みました。高校のOBに鳥大工学部出身の方がおられたので、先生を通じて連絡を取り、面接ではどういったことを尋ねられるのかなど、試験内容を直接伺うことができたのは大きなメリットでした。早めの準備が「吉」です。

## 平成29年度AO入試 第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成29年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成30年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

**全体を通して求める力** 社会システム土木系学科では、工学に関わる専門的な知識とともに、社会のしくみに関わる幅広い知識を持ち、安全で安心な社会の構築に貢献できるエキスパートの育成を目指しています。数学・理科の力とともに、高校時代に履修できるあらゆる科目や活動を通じて積極的に学び、社会のさまざまな課題について多面的にとらえるための幅広い教養を養ってください。

講義等理解力試験	講師(1名)が、本学科の教育内容や研究内容に関する講義(60分)を行い、その後、講義内容に関する筆記試験(60分)を行いました。
小論文	今の日本において人口減少・高齢化が進んでいる原因や背景、ならびに、公共施設や公共サービスの維持の面で人口減少が引き起こす社会的な問題とそれに取り組む方法について、自分の知っていることや自分の考えを、60分間で論述するものでした(800字以内)。
個人面接	5名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。
口頭試問	5名の試験官による、1人あたり15分の個人試問を行い、基礎学力(数学、英語)を確認しました。

# 農学部 生命環境農学科

募集人員(予定)  
10人

4年 | 太田 早紀子 さん (おおた さきこ) [私立大阪女学院高等学校 出身]



鳥取のお気に入り

### 胸打つ美しさの「浦富海岸」

岩美町・浦富海岸の碧く澄み切った海に感動! 初体験のスキューバダイビングでは魚たちが泳いでいる姿を見ることができました。険しい断崖の島々や海食洞門が並ぶ磯の景勝も見事です。

## ■ きのご研究への意欲に燃えてAOでトライ

私は今、鳥大農学部で菌類きのこの研究をしています。きのこのこの出会いは、高校の授業で長野の森を訪れたとき。かわいらしい見かけもさることながら、調べていくうちに創業にも役立つと知り、興味が湧いたんです。元々バイオテクノロジーに関心があり、農学系で進学先を探していたら、菌類きのこの研究の先進である鳥大を発見。瞬間に「ここだ!」と思いました。

高2の秋にはAO受験を決意。もしAOがダメでも推薦や一般入試で鳥大に挑戦するつもりだったので、センター試験の勉強も並行してやりました。大阪で開催された進学相談会に参加し鳥大のブースでAOの詳細を尋ねたり、通っていた予備校で情報収集。オープンキャンパスにも出かけ、モチベーションを高めました。

願書には、海外語学研修のこと、京都大や大阪大で特別講義を受けた経験などを記入。羅列だけに終わらず「その経験で何を学んだのか」を書くように意識しました。1次面接は待合室が静かすぎて緊張MAX! でも、「これとこれだけは絶対に話そう」というポイントを頭に思い浮かべ、自然体を心がけて面接に臨みました。

## ■ 様々な活動・経験がAO受験の糧になる

私にとってAO入試のヤマは、2次のグループディスカッションでした。実は同級生にAOや推薦入試を受験する人がほとんどおらず、全然練習ができなかったんです。でも、本番ではとにかく「自分の意見はしっかり述べる」「人の話をよく聞く」「自分の意見を主張しすぎない」の3点を意識。話が思わぬ方向へ発展しそうになったので、議論の軌道修正も心がけました。今になって思えば、高校生のとき様々な活動に積極的に取り組んでいたことで、自然と応用力が身に付いていたのかもしれない。「鳥大に入りたい」という強い気持ちも大切だと思います。

AO・推薦合格者が受ける「入学前教育」では2泊3日の合宿研修があるんですが、いち早く大学の友達ができうれしかったですね。入学後に学力で遅れを取らないようeラーニングもしっかりこなしました。将来は大学院へ進み、きのこの類の遺伝子研究に携わってさらに専門性を高めていきたいと考えています。

## 平成29年度AO入試 第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成29年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成30年度AO入試が下記のように行われるということはありませんので、ご注意ください。

全体を通して求める力	生命環境農学科では、自ら意欲的に学び、学んだことを実践に応用できることを重視しています。高校時代に履修できる、あらゆる科目を積極的に学び、知力、体力、コミュニケーション力、気力、実践力の基礎を養ってください。
課題論文	「あなたはこれまでに、どのような困難に遭遇し、それをどのように乗り越えてきましたか。また、その経験をどのように自分の将来に活かそうと考えていますか。」という課題について、これまでの経験と入学後の自分を想定して、具体的に記述するものでした(1,000字程度)。第1次選考合格者は、事前に課題論文のテーマを与えられ、第2次選考当日に課題論文を提出するものでした。
グループディスカッション	1グループ6名に分かれ、「人間が使える「水」資源には限りがあり、その分布は不均等です。一方で、日本は輸入品を通して多くのバーチャルウォーターを輸入し、利用・消費しています。このような事実を踏まえ、今後日本はどうするべきか、グループで議論し、結論を導きだしてください。」というテーマについて、グループディスカッションを行いました(90分)。なお、グループディスカッションの役割分担(司会を含む)を受験者が決めて、進行を行いました。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり25分の面接を行いました。また、基礎的な英語についても試問しました。



# 入学前教育

2泊3日の「合宿研修」、eラーニング

- 本学では、平成15年からAO入試合格者、推薦入試合格者に対し、2泊3日の「合宿研修」を含む入学前教育を行っています。合格した学部・学科での説明、プレースメントテスト、進路意識検査、在学生との交流などの様々なプログラムのなかで、現在の学力の把握、入学後に学ぶ内容や環境の説明、さらに先輩や同級生とふれあうことで、合格後のモチベーションを高め、大学生活のスタートを支援しています。
- 合宿研修以降は、高等学校教育への影響を考慮し、入学センターがeラーニング(Webを利用した遠隔学習)を行い、合格した学部がレポート提出を求めるなどの教育・指導を行います。

## 1 合宿研修参加者の声 2

今回の合宿では新しい自分を発見できました。今までは人に積極的に話しかけるのは苦手だったけど、ディスカッションでも積極的に会話に入ったり、今回の合宿で少し克服できたと思います。あと、今までは海外に行く気は全然なかったけど、先輩方のお話を聞いて興味を持ちました。先輩方も英語が苦手だったと言われていたけど、自分も留学することで視野を広げたいと思いました。

この合宿では、人との関わりだけでなく、学力テストやグループワークを通して、自分のできないことを見直すことができます。自分が考えていることをちゃんと相手に伝えることが難しく、もっと根拠のある話し方をする必要があったと感じました。また、先輩方にたくさん質問ができて楽しかったし、入学までに何をすればいいのか詳しく知ることができ、入学への不安が少なくなりました。

## 合宿研修タイムスケジュール (昨年度の実績)

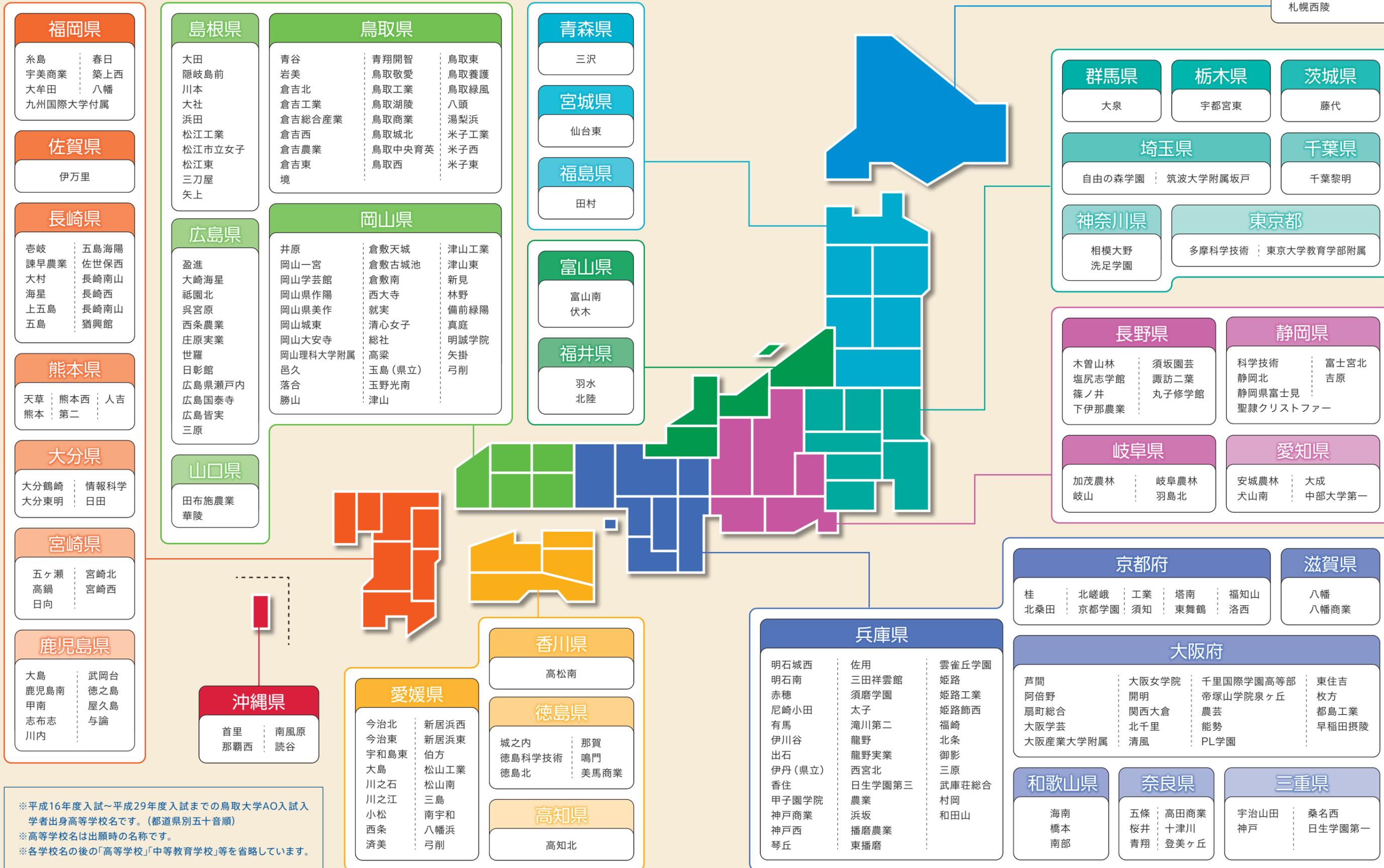
[時]	第1日目	第2日目	第3日目	[時]
7		朝食 (7:00~7:30)	朝食 (7:00~7:30)	7
8		湖山池へ移動 (8:00)	閉講式 (7:45~9:00)	8
9		湖山池眺望&散策 (8:10~8:45)		9
10		学力試験[選択] (9:00~10:05)	解散	10
11		学力試験[数学] (10:15~11:05)		11
12		グループワーク (11:15~12:30)	グループワークは、4~5名で1つのグループを形成し、その中で役割分担を決めて、ある課題に取り組み、時間内で結論を出して発表します。	12
13		昼食 (12:30~13:30)		13
14	開講式・プログラム説明 (13:00~14:30)	グループワークの結果のプレゼンテーション (13:30~15:00)		14
15	学部・学科での説明 (14:45~16:15)	学力試験[英語] 結果通知 (15:15~15:30)		15
16		海外経験学生による体験談 (15:30~17:00)		16
17	学力試験[英語] (16:30~17:35)			17
18	夕食 (17:45~18:30)	宿舎へ移動 (17:40)		18
19		夕食・懇談 (18:00~19:00)		19
20	グループワーク課題の事前説明 (18:45~20:00)	在学生によるプレゼンテーションと交流 (19:00~21:00)		20
21	宿舎へ移動 (20:10~20:20)			21

◆工学部社会システム土木系学科では、入学後の指導の参考にするため、右に指定した大学入試センター試験3教科5科目について、可能な限り受験して、自己採点の結果を報告することになっています。

数 学: 数学I・数学A(必須)と  
[数学II・数学B、簿記・会計、情報関係基礎] から1  
理 科: 物理(必須)と[化学、生物、地学] から1  
外国語: 英語(リスニングを含む)

# 鳥取大学 AO入試 入学者出身校

鳥取大学AO入試では、全国各地から入学者を迎え入れています。



※平成16年度入試～平成29年度入試までの鳥取大学AO入試入学者出身高等学校名です。(都道府県別五十音順)  
 ※高等学校名は出願時の名称です。  
 ※各学校名の後の「高等学校」「中等教育学校」等を省略しています。